

令和7年度 認知症対応型サービス事業管理者研修 カリキュラム 講義9時間（540分）

科目	目的及び内容	時間数
1 地域密着型サービスの基準	- 適切な事業所運営を図るため、地域密着型サービスの目的や理念を理解する。 - 適切な事業所管理を行うため、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護の各指定基準（特に「地域との連携」「質の向上」）を理解する。	60分
2 地域密着型サービスの取組み	地域密着型サービス事業所からの実践報告や事例等を通じ、各事業のサービス提供のあり方について理解する。	90分
3 介護従事者の労務管理と質の向上	労働基準法の規定に基づき、適切な介護従事者の労務管理について理解するとともに、適切な労務管理・雇用管理を通して職員の質の向上を図る。	60分
4 適切なサービス提供のあり方	- サービス提供に当たり、下記の事項等について、各事業所の運営・管理に必要な事項として、基本的な理解を図る。 ＜地域等との連携＞ - 利用者の家族・地域・医療との連携 - 運営推進会議の開催 ＜サービスの質の向上＞ - アセスメントとケアプランの基本的考え方 - ケース会議・職員ミーティング - 自己評価・外部評価の実施 - サービスの質の向上と人材育成 ＜その他＞ - 権利擁護（高齢者虐待を含む）及びリスクマネジメント - 記録の重要性 など	330分